



第347号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



天からの役割



年の暮れとなり、慌ただしい季節となりました。暖冬とはいえ、朝の凍てつく空気に思わず身を震わせます。今年の一年も台風や集中豪雨が各地で発生し、また大阪や北海道で大地震が起こり、多くの方が被災され、悲しい年でした。皆様、如何お過ごしでしょうか。

今年の7月7日に豪雨による小田川の氾濫で、真備町の門信徒の家が多数水没し、懸命に再建に取り組んでいる方もあれば、高齢のために再建を諦めて他府県にいる子供さんを頼りに、愚僧の寺から泣く泣く離れて行かれた方もあり、寂しいかぎりです。

11月3日の親鸞聖人を偲ぶ心光寺の報恩講法要は晴天にもかかわらず、門信徒の皆様の欠席が多く、体調が良くなかったり、急用が出来たようです。法要には必ずお参りに来て下さっていた真備町の梶原夫妻も名古屋に転居してしまったり、高齢になると年々に体調が悪くなって、お寺参りを遠慮されだすので、暗雲が立ちこめます。「人間とは何か。人間らしい生き方とは。自分とはナンダ。自分らしい生き方とは。人間に生まれてきて良かった。自分が自分で良かった」と言えるような考え方や心の受け止め方を仏教から学ぶためにも、高齢者だけでなく、若者にも積極的に「お寺参りしてもらいたいですね。」

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

11月19日に日産自動車の代表取締役カルロス・ゴーン会長(64)が自らの報酬を約50億円少なく有価証券報告書に記載した疑いがあるとして、東京地検特捜部に逮捕されました。ゴーン会長はブラジルで生まれ、パリ国立高等鉱業学校を卒業し、78年にフランスのタイヤ大手のミシュランに入社、96年にはルノー自動車副社長に就任。99年(平成11年)に経営危機に瀕していた日産自動車の経営立て直しに、資本提携したルノー自動車から派遣され、豪腕を奮い、短期間で業績をV字回復させた「カリスマ経営者」としても有名です。三年前には経営が悪化していた三菱自動車とも資本提携し、ルノーの最高執行責任者と日産自動車・三菱自動車の会長を兼ねています。

ゴーン会長の日産での役員報酬は国内の上場企業の中でもトップクラスで毎年10億円前後の報酬を受け取っていたが、実際はその倍近い報酬を受け取っていたようです。日産の経営立て直しのために国内の主力工場を閉鎖したり、取引先の部品メーカーを切り捨てたり、大胆な社員のリストラを断行して、経費を節減したのに、自分だけが高額報酬を得ていたとしたら恥ずかしいことです。

中国古典『韓非子』に「以儉得之 以奢失之」とあり、ある国の王が政治のあり方を賢者に尋ねたところ、上に立つものは節儉(質素)を以て国内の支持を得られ、贅沢な生活にふけると国を失うと答えました。ゴーン会長も多額の報酬を欲張り、名声を失ったようです。

江戸幕末の儒者佐藤一斎の著書『言志四録』に、「人は必ず自らを反省し考察せよ。天は何故に自分をこの世に生みだし、自分に何をさせようとしているのか。私は天が生んだものであるから、必ずや天から役割が与えられている。その役割を果たさなければ、必ず天罰を受ける」とあります。

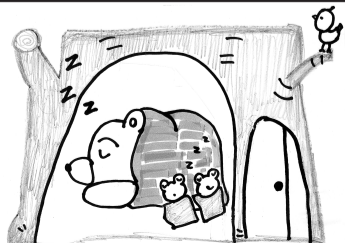
愚僧も満70歳を11月で迎え、いよいよ人生の終活です。人生には悲しいこと、辛いことがいっぱいありますが、ここまで生かされたことを喜び、来年も精一杯に感謝と共に生きたいな。合掌(奥原 曇龍)

『天は何故自分をこの世に生み出した 真剣に考え今を生きよう』 どんりゅう

ともしび説法

日時・十二月 六日「木曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
一月 一日「火曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



カット：奥原 綾



お釈迦様ものがたり 26

ウルヴェーラのセーナー村を流れる尼連禪河のほとりの静寂な森で、お釈迦様は厳しい苦行の生活を三十歳から、覚りを開く三十五歳までの六年間をかけています。

苦行には四種に大別され、①心を制御するもの、②呼吸を止めるもの、③断食によるもの、④食を減ずるものです。

お釈迦様は当時を追懐して、「世のいかなるシヤモン、バラモンの修行者が、どんなに激しい苦痛を受けた者があつたとしても、自分ほど徹底した最極の苦行を試みた者はなかつたのであり、未来のいかなる修行者も自分が行なつたほどの苦行をなすものはないであらう。このような激しい苦行を続けてみて、自分は最高の覚りに到達できなかった」と述べられています。

六年間の死を賭した命懸けの苦行の結果、お釈迦様の全身は肉がなくなり、皮はしわんで、眼はくぼみ、肋骨は現れ、骸骨のようでした。毛根は腐り、毛は抜け落ち、皮膚は浅黒く、死人のようで、従来の美しい黄金色はまったく消失していたのです。用便に立とうとすると、力なく前方に倒れました。このような激しい苦行は、仏教の最高の覚りを得る修行法としては不合理で有害無益なものだとされ、苦行を排斥されました。

当時のインドでは、灼熱の太陽の下で裸のまま修行する裸形や、魚や鳥獣の肉を食べないとか、酒類や粥汁を飲まないとか、野菜だけしか食べないとか、キビだけ、ゴマだけ、米だけ食べるなどの苦行もありました。衣服にしても、麻、樹皮、獣皮、草衣、髪衣などのいずれかを定め、そのみを着続けて修行します。死ぬまで身体を洗わないとか、右手や左手をあげたままとかの変な行も…

お釈迦様は意を決して苦行を放棄し、尼連禪河で身を洗い清め、村の娘スジャータの助けで身体を回復させます。合掌(奥原曇龍)

悲しみも悩みもつつんで新年を迎える除夜にともしびの鐘 田辺多恵子



11月3日 秋の報恩講法要で催し物(フラダンス)

ともしび法話

師走を迎え慌ただしい日々、皆様お元気でいらつしやいますか。お寺では年末の大掃除、三十日の餅つきや大晦日の除夜の鐘、また元旦説法と続きます。今年の大晦日は午後二時半より法要し三時から四時まで除夜の鐘を撞きます。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

曇龍先生、仏教小誌の『よろこび』有り難うございました。「如来のみに頼るべきまづる」を拝読し、人間の幸せとは何かを考える時間をいただきました。孫たちの世話と家事に追われ、謙虚さを見失いそうになる時、真夜中に一人静かに自分が自分であることの意味や幸せについて考えると心の落ち着きをとります。 都窪郡早島町 平松 公子

【除夜の鐘】のお知らせ
十二月三十一日大晦日の午後二時半より法要後の三時から四時まで鐘を撞きます。夕方梵鐘を撞くのは初めての試みですが心光寺の檀家以外の人でも、駐車場が広いので、気軽に参拝し梵鐘を撞いて下さい。

ともしび説法

日時・十二月 六日「木曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
一月 一日「火曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定

- 二月 六日(水)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
- 三月 七日(木)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
- 四月 二十一日(日)・午前十一時から午後四時・永代経法要。

☆『ともしび』を平成21〜23年、平成24〜26年、平成27〜29年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となって、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返ることが出来ます。まとめた本が欲しい方は実費でお分け致します。

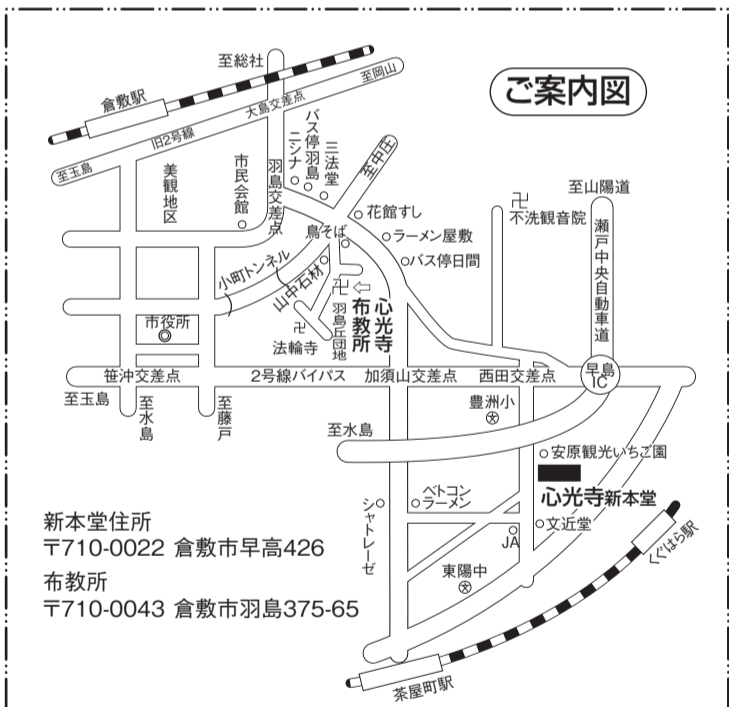


いっころの詩

今年も師走がきたよ
他人と比較をせず
ちよつとしたことにも感動し
つまらないものにも喜んで
恬淡と生きたいと願っても
とめることが出来ない愚痴と涙
静かに響け除夜の鐘



カット:吉岡美枝



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
倉敷市 古賀富美子 5千円
尾道市 奥原敏雄 1万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「347号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法が午後の日には茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡を下さい。合掌 心光寺 総代長 三村健